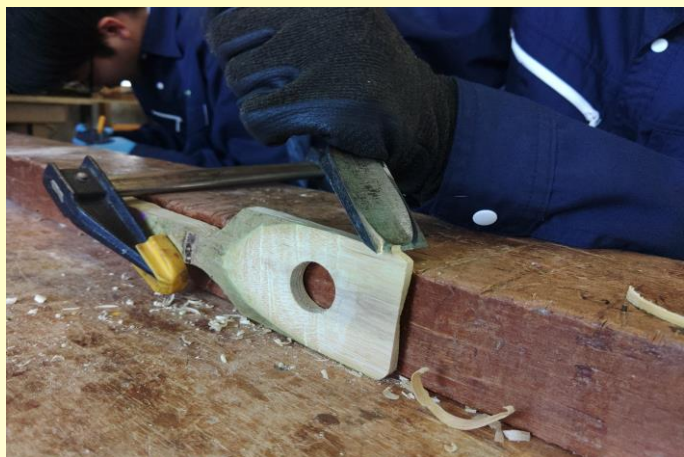


# 3年生林産物利用 竹の加工品・流しそうめん

近年問題となっている竹林の竹を有効利用するために、3年生がモウソウチクを用いて、竹の加工品を製作しています。今回は、5月～7月に製作した竹のへらや作品を紹介します。



モウソウチクを鋸を使って切り出してから、手のみや切り出し小刀で加工した竹のへらです。生徒がそれぞれデザインし、好みの形にできるのがこの竹細工の面白いところです。



モウソウチクで流しそうめんをやる時に使う器を作ったり、竹で飯盒を行う容器を作る生徒もいました。器には趣向を凝らした模様をつけるなど、とてもオリジナリティに富んだ作品で、見ているだけで面白い雰囲気が伝わります。



器からへらまで「全て竹づくし」のご飯は竹の香りと独特な甘さがあり、普通の炊飯とは別物でした。これができるのも本校森林科学科の魅力です。

# 竹づくしの流しそうめん



夏休み前の7月に、流しそうめんを行いました。そうめんを煮るために薪で火を起し、流しそうめんに使うための竹も自分たちで加工し、箸から器まで全て竹づくしの流しそうめんを行いました。夏ということもあり、生徒たちにも大変好評でした。これこそ森林科学科の醍醐味です!!